

平成 27 年 ( ' 15 ) 10 / 25

第 80 号

火事と救急は  
局番なし 119 番

消防だより

発 行

吹田市防火連合会

吹田市江坂町 1 丁目 2 1 - 6

吹田市消防本部内

電話 ( 06 ) 6 193 - 0119 ( 代表 )

平成 27 年度全国統一防火標語

『無防備な 心に火災が かくれんぼ』



吹田市消防本部 ポンプ車操法大会

火災のない明るい吹田市を築きましょう

● 吹田市防火連合会名簿 ●

役職	氏名	事業所名等	所属
相談役	後藤圭二	吹田市長	
〃	村上博之	吹田市消防長	
会長	市川盛壽	豊津振興市場 協同組合	公衆・会長
副会長	青木賢吉	アサヒビール(株) 吹田工場	工危・会長
会計監査	石井章雄	サニーストン ホテル	公衆・副会長
会員	川野正善	吹田市千里市場 商店会協同組合	公衆・副会長
〃	木村友彦	クラブ・ アルドレー	公衆・副会長
〃	乾 哲	(株)日本触媒 吹田地区研究所	工危・副会長
〃	天野正夫	(株)NEOMAX マテリアル	工危・副会長
〃	米原 茂	山文油化(株) 吹田工場	工危・副会長
〃	由利大介	山崎製パン(株) 大阪第一工場	工危・副会長
〃	橋本 治	橋本建設(株)	建設・会長
〃	紙谷和典	日本推進建設(株)	建設・副会長
〃	田中敏之	栄電気(株)	建設・副会長
〃	中村昭一	(株)江坂設備工業	建設・副会長
〃	渡邊 眞	(株)ワタナベ	建設・副会長
〃	阪本 緑	吹田市家庭防火 クラブ連絡協議会 (上山手)	家防・会長
〃	笹川順子	吹田市家庭防火 クラブ連絡協議会 (川面町)	家防・副会長

公衆・吹田市公衆集合場防火協会

工危・吹田市工場危険物防火協会

建設・吹田市建設業防火協会

家防・吹田市家庭防火クラブ連絡協議会

◆ 協会だより ◆

吹田市防火連合会

11月25日(水) 防災講演会  
(東急REIホテル)

11月25日(水) 交流会  
(東急REIホテル)

吹田市公衆集合場防火協会

9月 1日(火) 第2回役員会 (消防本部)

9月25日(金) 創立50周年記念式典会議  
(消防本部)

平成28年1月26日(火)  
吹田市公衆集合場防火協会  
創立50周年記念式典  
(東急REIホテル)

吹田市工場危険物防火協会

9月 2日(水) 第2回役員会 (消防本部)

11月25日(水) 会長定例表彰  
(東急REIホテル)

吹田市建設業防火協会

8月27日(木) 役員会 (消防本部)

11月12日(木) 秋季火災予防運動に  
伴う街頭広報  
(阪急北千里駅周辺)

吹田市家庭防火クラブ連絡協議会

8月 2日(日) 吹田まつりパレード参加  
(旭通商店街)

10月27日(火) 研修会  
(株式会社モリタ 三田工場)

防火さつき会

11月 4日(水) 研修会  
(阪神高速震災資料保管庫)

## ◆ 大阪府危険物安全大会 ◆

平成 27 年 6 月 12 日（金）、大阪市中央区の KKR HOTEL OSAKA で行われた大阪府危険物安全大会で優良危険物関係事業所として吹田市工場危険物防火協会所属の城南産業株式会社が表彰され、同社の川本忠司氏かわもとただしが大阪府知事感謝状の贈呈を受けました。

また、大阪府危険物安全協会理事長から優良危険物事業所としてアサヒロジ株式会社近畿圏支社が表彰され、同社の南都一雄氏なんとかずおが表彰状を受けました。



左から米原副会長、南都氏、川本氏、村上消防長

## ◆ 市民表彰【初期消火活動】 ◆

平成 27 年 6 月 16 日（火）、吹田市川園町の共同住宅で発生した火災事案において、付近でガス工事の作業中であった木村伊頼氏きむらいよりと小島幸孝氏こじまゆきたかは、いち早く火災に気づき、冷静かつ的確な行動で早期の 119 番通報の実施と水バケツで火災拡大を初期段階において抑制した功績で表彰されました。



木村 伊頼氏（左）、小島 幸孝氏（中央）

## ◆ 幼年消防クラブ結成 ◆

平成 27 年 6 月 12 日（金）、新たな幼年消防クラブとして蓮美幼児学園千里丘ナーサリーが結成式を行いました。

結成式では、園児たちが大きな声で『防火の誓い』を唱和してくれました。

これにより吹田市内の幼年消防クラブ数は 34 クラブになりました。



結成式の様子

## ◆ 市民表彰【初期消火活動】 ◆

平成 27 年 7 月 8 日（水）、吹田市千里山高塚の共同住宅で発生した火災事案において、火元の下階に住む山崎 強氏やまざき つよしは、火災報の鳴動を聞き消火器を携行して火元室内に入り、冷静、沈着かつ迅速な行動で火災拡大を初期段階において抑制した功績で表彰されました。



表彰式の様子

◆ 大阪の消防大賞 ◆

【指令情報室 調査グループ】

平成 27 年 7 月 4 日（土）、大阪国際交流センターにおいて第 30 回「大阪の消防大賞」の表彰式典が行われました。この式典は日々の消防業務を遂行していく中で、特に顕著な功績をあげた大阪府内の消防職員及び消防団員が表彰されます。

吹田市消防本部から今年度は、指令情報室 調査グループの 4 名が、火災事案において出火建物から逃げ遅れた女性を救出した功績で表彰されました。



前列左から福井司令補、葛上主査、梅田士長、鶴田主査

【消防音楽隊】

同じく、平成 27 年 7 月 4 日（土）、第 30 回「大阪の消防大賞」を記念して、第 1 回の表彰式典から演奏を披露している大阪府下消防音楽隊推進部会に特別賞が贈られました。昭和 50 年に結成された大阪府下消防音楽隊業務研究会を前身としたこの推進部会は、現在 9 つの消防音楽隊（堺市、大東・四條畷市、豊中市、守口・門真市、八尾市、茨木市、吹田市、高槻市、柏原・羽曳野・藤井寺市）の消防音楽隊で構成されており、各消防本部の枠組みを越えた消防広報活動を実施している功績で表彰されました。



吹田市消防音楽隊のメンバー

◆ 第 44 回消防救助技術近畿地区指導会 ◆

平成 27 年 7 月 19 日（日）、神戸市中央区の神戸学院大学ポートアイランドキャンパスで第 44 回消防救助技術近畿地区指導会が開催されました。今年、大阪府下と兵庫県下の消防本部から約 1,000 名の消防職員が出演し、個人種目では、職員が持つ最大限の技術、体力及び集中力を、そして団体種目では、部隊が一致団結したチームプレーを披露しました。吹田市消防本部警防救急室 救助課から障害突破訓練に 2 チーム、ロープブリッジ救出訓練に 2 チームが出演し、健闘しました。



障害突破訓練



ロープブリッジ救出訓練

◆ ポンプ車操法大会 ◆

平成 27 年 8 月 25 日（火）、26 日（水）の両日、吹田市五月が丘南の市立博物館駐車場南側空地において、ポンプ車操法大会が実施されました。この大会は、操法を通じ規律ある動作及び的確な命令・行為の伝達を再確認することにより署員の士気高揚と団結を図ることを目的に南・北・西・東消防署から選抜された隊員が一同に介して日頃の訓練の成果を披露しました。



南消防署警防第 1 係



北消防署警防第 1 係



西消防署警防第 1 係



東消防署警防第 1 係



南消防署警防第 2 係



北消防署警防第 2 係



西消防署警防第 2 係



東消防署警防第 2 係

◆ 家庭防火クラブ【吹田まつりパレード】 ◆

平成 27 年 8 月 1 日（土）、2 日（日）の両日、毎年恒例の吹田まつりが開催されました。吹田まつりは、大阪万博 EXPO' 70 の年に始まり「愛と夢をはぐくむ市民のまつり」をテーマに今年で 46 回目を迎えました。

8 月 2 日（日）の本祭りのパレードに参加いただいた各家庭防火クラブの会員の皆様は、炎天下の中、凜とした揃いの法被姿で「家庭防火はみんなの手で！」を PR し、旭通商店街を行進しました。



吹田市家庭防火クラブ パレードの様子

# 事業所訪問

## 日本設備工業株式会社

当社は昭和42年の創業から現在に至るまで、この吹田で会社の礎として大切にしてきた「信頼」をベースに、社員一丸で設計・施工・点検保守を通じて企業や人々の安心と快適を見守る仕事に日々、チャレンジをしてきました。



私たちは電気設備を核とした環境改善業の分野で、お客様に快適な空間と時間、そして「安心・安全」を提供し、たくさんの人々とのかかわりの中で、一人ひとりが技術力や人間力を培い、設備を充実させ成長していくことを目指しています。

それが、会社自体の成長・発展の源泉となり、更によりサービスを提供し、社会に信頼の輪を広げ続けることに他ならないと考えています。

これからも、より安心で、快適な未来を社会に提供するために、全力で努めてまいります。



## ◆ J-city キッズタウン 2015 ◆

平成27年8月8日（土）、吹田市片山町2丁目の大和大学で「J-city キッズタウン2015」が開催されました。このイベントは、こども店長50名、こども店員200名が小さなまちをつくり、運営します。こども達はハローワークで仕事を探し、決められた時間で働いた後、仮想通貨でお給料を貰い、納税をして残った仮想通貨で食事や買い物をし、まちを満喫します。このようになかなか実体験をする機会がない社会の仕組みを「こどもだけ」で体験するものです。

まちの中には、いろいろなゾーンに分割され、公共ゾーンでは消防署や警察署、市役所等の職場があり、消防署では南消防署の署員が大人スタッフとしてこども店長のサポートを行い、職業体験をしてもらいました。



消火作業体験コーナーの様子

## ◆ 平成27年度 吹田市地域防災総合訓練 ◆

平成27年9月4日（金）、吹田市地域防災計画に基づき、震災等の災害発生時において防災関係機関等相互の有機的な連携を深め、効果的な応急対策を実施できるよう防災体制の強化と関係者の技術の向上を図るとともに、防災意識の高揚に資することを目的として「平成27年度 吹田市地域防災総合訓練」が実施されました。

訓練は、「午前8時00分、上町断層を震源とするマグニチュード7.5の直下型地震が発生し、吹田市全域で震度6強、一部地域では震度7の大地震に襲われた。」という想定で、吹田市藤白台5丁目の千里北公園蓮間池東部において行われました。



【防災資機材を活用した倒壊家屋からの初期救助及び初期消火訓練】



【水防工法訓練】



【倒壊建物及び道路崩落災害による多数傷病者の救助・応急救護訓練】



【大規模火災 消火・延焼阻止対応訓練】

## ◆ 第32回 みんなの健康展 ◆

平成27年9月5日(土)、6日(日)の両日、吹田市文化会館(メイシアター)において「いきいき元気に、笑顔で健康」をテーマに『第32回みんなの健康展』が開催されました。

消防本部からは、心肺蘇生訓練用人形を展示し、子どもから大人まで多くの方が、人工呼吸や心臓マッサージ、AEDの取扱方法等の実技指導を熱心に受けていました。



応急手当実技指導の様子

## ◆ 職員人命救助 表彰 ◆

平成27年9月7日(月)、西消防署千里出張所第2係勤務の山野井 潤 消防士が舞鶴市の神崎海水浴場において、溺れていた男子中学生2名を救出した功績で表彰されました。

また、山野井消防士は、9月3日(木)、京都府警舞鶴警察署からも同事案に対して感謝状を贈られています。

この水難救助事故は、平成27年8月19日(水)、家族と訪れた海水浴場において、沖合で男子中学生が溺れていると聞き、持参した浮輪と海の家周囲に張られていたロープをつなぎ救助活動に使用、機転を利かせた対応で無事2名を救出したものです。



表彰式の様子

## ◆ 救急フェア ◆

平成27年9月19日(土)、(公財)JR西日本あんしん社会財団主催に『救急フェア』がJR吹田駅前さくす夢広場で開催されました。このイベントには、消防から南消防署が参加して消防車型バッテリーカーの乗車や子ども用現場外とうが着装できるお楽しみコーナーを開設し、親子連れの来場者から好評を得て、行列ができる賑わいを見せました。



消防コーナーの様子

## ◆ 高齢者交通安全大会 ◆

平成27年9月29日(火)、吹田市文化会館(メイシアター)中ホールにおいて高齢者交通安全大会が開催されました。

大会の途中には、吹田市消防音楽隊による吹奏楽演奏があり、迫力のある金管楽器や繊細な木管楽器の音色に会場からは大きな拍手が送られました。



消防音楽隊演奏の様子

**電話勧誘の手口は…**

### 防災グッズ等に関する不適切な電話勧誘について

※ 消防署の職員のように、また、消防署の依頼を受けたと偽って電話を掛けてきます。

- ・「〇〇消防署です。『便利な防災グッズ』を配布しています…」
- ・「消防署から依頼を受けて電話しています。防災グッズを配っています…」 etc.

決して消防署が「防災グッズ」の配布を個人宅へすることはありません。

**トラブル防止のポイント**

もし、少しでも不審だと思ったら、はっきりと拒否して下さい。そして、下記の最寄りの消防署に通報してください。

- ◆ 不適切な電話勧誘についての問い合わせや通報は、
- ・南消防署 (吹田市内本町1-23-14 TEL 6317-0119) ・北消防署 (吹田市藤白台1-1-50 TEL 6872-0766)
- ・西消防署 (吹田市江坂町1-21-6 TEL 6384-0151) ・東消防署 (吹田市尺谷5-15 TEL 6876-9119)

吹田市内で、消防署を語って「便利な防災グッズ等を配っています。」というような不適切な電話勧誘が発生していますのでご注意ください

NO

はっきり断りましょう!